

しわ 紫波 ネット

SHIWA-NET
http://www.town.shiwa.iwate.jp/

人と地域をつなぐ広報紙



10

No.921 2015



澄んだ秋空の下、 かいっぱい駆け抜けて

表紙の写真

日詰商店街で9月27日、町民マラソン大会が開かれ、小学生から一般まで171人が参加しました。個人、継走、ファミリー、仮装の部などに分かれてスタートした参加者たちは、沿道から声援を受けながら、爽やかな汗を流してゴールを目指しました。(P3)

特集 04

平成26年度 決算の状況

日詰のまちが生まれ変わる!リノベーションスクール開催	02
環のくに紫波	08
健やかランド紫波	10
教育振興だより	14
SPOT NEWS	17
町制施行60周年記念 シリーズ行ってみよう	
まちかどタイムスリップ	24

日詰のまちが生まれ変わる！ リノベーションスクール開催



3日間の日程を終え、充実した表情の受講生と講師の皆さん。講師には、国内でのリノベーションまちづくりで実績のある清水義次さん（アフタヌーンソサエティ）、青木純さん（メゾン青樹）、吉里裕也さん（SPEAC,inc）、嶋田洋平さん（らいおん建築事務所）、竹内昌義さん（みかんぐみ）、大島芳彦さん（ブルースタジオ）、岡崎正信さん（オガールベース）、アドバイザーには御手洗瑞子さん（気仙沼ニッティング）をお迎えしました。

事業計画
コース

ユニットA 案件：横澤邸 → 川とまちをつなぐ「川の家」



日詰地区と歴史的な結びつきが深い北上川と河川敷に着目。川下りやバーベキューなどの拠点施設にし、大人の恋人たちが楽しめる地域にしたい！

公開プレゼンテーションで発表された内容の一部を紹介します

町は本年度から、日詰地区で遊休化している不動産を活用し民間主導で事業化を進める「リノベーションまちづくり」を進めています。リノベーションまちづくりとは、建物を再生するだけでなく、同時に地域の課題を解決するまちづくり手法のことです。古くからの歴史を持つ日詰商店街と、新しい交流が生まれているオガール地区とが一体となった町の中心づくりを進めることを目的としています。

この一環として、9月25日から27日までの3日間、日詰商店街地区と情報交流館を会場に、リノベーションスクールを開校しました。全国各地でリノベーションまちづくりの実績のある講師陣を

ユニットB 案件：村谷屋 → 発酵の文化と魅力を伝える憩いの場



南部杜氏発祥の地として今も町内に4社の造り酒屋があり、家庭でも味噌や漬物を作る習慣が残る紫波の発酵文化に着目。発酵食品を販売するとともに棚貸し業務、飲食店の経営、漬物や味噌造りを学べるワークショップなどができる場にしたい！

迎え、町内はもちろん県内外からさまざまな経歴を持つ28人の受講生が参加し、学びを深めました。

事業計画コースでは、日詰商店街地区にある実際の物件を題材に、日詰地区に新たな人の流れをつくって町を活性化させる不動産再生計画案を作成。セルフリノベーションコースでは、実際にアパートの一室を、自分たちの手で断熱性が高く魅力的な部屋に改修しました。最終日の27日には、役場旧庁舎の議場で、不動産所有者の皆さんや一般の方々を前にして、この3日間の成果を発表。日詰のまちの歴史や文化を踏まえた、新たな魅力と価値を生むアイデアが次々と出されました。

日詰商店街を にぎやかなまちに!

秋の商店街を駆け抜けたマラソン大会

秋晴れに恵まれた9月27日、第35回町民マラソン大会が行われました。約10年ぶりに日詰商店街を周回コースにして開催され、小学生から一般まで171人が参加。個人、継走、ファミリー、仮装の各部に分かれて、爽快な汗を流しながら駆け抜けました。お父さんお母さんと一緒に参加した古館地区の遠藤妃莉さんは「スタート前はドキドキした。疲れたけど楽しかった。今はとっても気持ちいい。来年も参加したいです」と息も切らさず笑顔でした。

今大会は町体育協会をはじめ、日詰商店会や商工会、紫波観光ぶどう園、紫波総合高校陸上競技部などさまざまな団体が協力して運営。鈴木弘幸商店会長は「日詰商店街としても大歓迎です。併せてイベントも開催しているので、食欲の秋も満喫してほしいです」とにぎわいに期待していました。



1周1.5kmのコースを走りきってゴール!

手作り作家などが集うにじいろフェア

リノベーションスクール開校期間中の9月26、27の両日、日詰商店街で「にじいろフェア」が開催されました。商店街地区にある遊休不動産や公民館、平井邸を会場とし、町内外から参加した34組が、手作り小物やお菓子、野菜などの販売、マッサージ体験などのコーナーを開きました。主催したにじいろcafeの細川奈津子さんは「これまで、オガールプラザで10回ほど開いてきた催しを日詰商店街を会場にしてやってみたいと思い企画しました。今後は、もっとたくさんのお客さんに足を運んでもらえるように、集客に力を入れ、第2回目の開催につなげていきたいです」と今後を見据えて話していました。



趣きのある建物内で、さまざまな出店者がブースを構えました

ユニットC 案件:役場旧庁舎 → 結婚式など、ハレの日を祝う「ハレマチ」



現在、町内に結婚式を挙げられる場所がないことに注目。特徴的なY字型の建物と厳かな雰囲気、見晴らしの良い屋上、中庭を生かしたお祝いの場づくりを提案。中庭を緑地化することで普段から子どもたちが遊べるようにし、町産の食材を使った料理を提供したい!

セルフリノベーションコース

案件:メゾン・ド・テラタの1室 → 断熱性が高く冬も暖かい部屋



床の表面を取り外し、断熱性の高い断熱材を敷き詰め、天然の無垢材を使ったフローリングに交換。壁にも断熱材を追加し、木の温もりあふれるおしゃれな壁が完成。また、窓から熱が逃げることを防ぐため、軽くて手頃なパネル材を使用した内窓を取り付け、快適な部屋に変身!

インタビュー

見つかったのはこれなんです。

アパートの所有者 寺田恵子さん (日詰)
町からお話をいただいた時、たまたま空き部屋があり、協力することに決めました。これまでは、住人の出入りがあるたびに、部屋の改修やエアコンの取り付けなどを家主負担で行ってききましたが、このような形で部屋が生まれ変わり、家賃は少し高くなりますが、1室でも多く借りてくれる人が見つかったのはこれなんです。

セルフリノベーションコースで助言・指導 (有) 作松建設・作山良枝さん (犬吠森)
今回さまざまな人と一緒に改修作業をする中で、普段プロ集団の中で当たり前に行っている工程がとても大切だと気づかされるなど、ものごとの見方が変わりました。また、町外の方々がたくさん魅力的な提案を考えてくれて、気づきを与えてくれたことは、これからの町づくりにとって、とても大きなことだったのではないかと思えます。

参加募集 紫波町家守塾～粉ビジネス編～

町産の小麦やうるち米、もち米、ソバなどを使って、町の空き家でビジネスを始めたい人を対象にした起業セミナーです。当日は、実際に全粒粉を使ったうどんや和菓子を作りながら、事業化に必要な知識・技術を習得します。

■日程 11月5日(木)午前11時～午後5時30分

6日(金)午前 9時～午後5時

■会場 情報交流館 ■参加費 1万円(材料費込) ■定員 10人(選考有り)

■講師 清水義次さん(アフタヌーンソサエティ)、

岡崎正信さん(オガールベース)、長澤武久さん(盛岡市竹芳)

■申込 10月23日(金)午後5時まで。町のホームページから申し込みください。

■問合せ 企画課 公民連携室 ☎672-2111 内線2291 FAX672-2311

メール town.shiwa.ppp@gmail.com

今後のリノベーションまちづくりに関する情報は、広報「紫波ネット」や町のホームページ、「日詰リノベーションまちづくり」のフェイスブックなどで随時お知らせします。

平成26年度決算の状況



歳入

149億5595万円

(対前年度 +9億7497万円)

自主財源
36.6%

町税 31.0億円 (20.7%)
 町民税 13億2388万円
 固定資産税 14億7922万円
 軽自動車税 9110万円
 町たばこ税 1億8791万円
 鉱産税 24万円
 入湯税 1708万円

繰越金 6.3億円 (4.2%)

使用料・負担金など 4.7億円 (3.1%)

保育施設等利用負担金...9755万円
 国営土地改良事業負担金... 1億1157万円
 被災地支援職員派遣負担金..... 929万円
 温泉施設利用料 1528万円
 町営住宅使用料 4004万円
 財産収入 8900万円
 寄附金 1084万円

諸収入など 6.6億円 (4.4%)

学校給食費 1億5879万円
 雑入 5000万円

繰入金 6.1億円 (4.1%)

依存財源
63.4%

地方交付税 42.3億円 (28.3%)

国・県支出金 33.7億円 (22.5%)

町債 12.4億円 (8.3%)

上水道事業出資債 2億 60万円
 都市計画事業債 8600万円
 災害復旧事業債..... 3億 350万円
 観光交流施設整備事業債..... 5060万円
 臨時財政対策債 5億 1203万円

交付金 4.0億円 (2.8%)

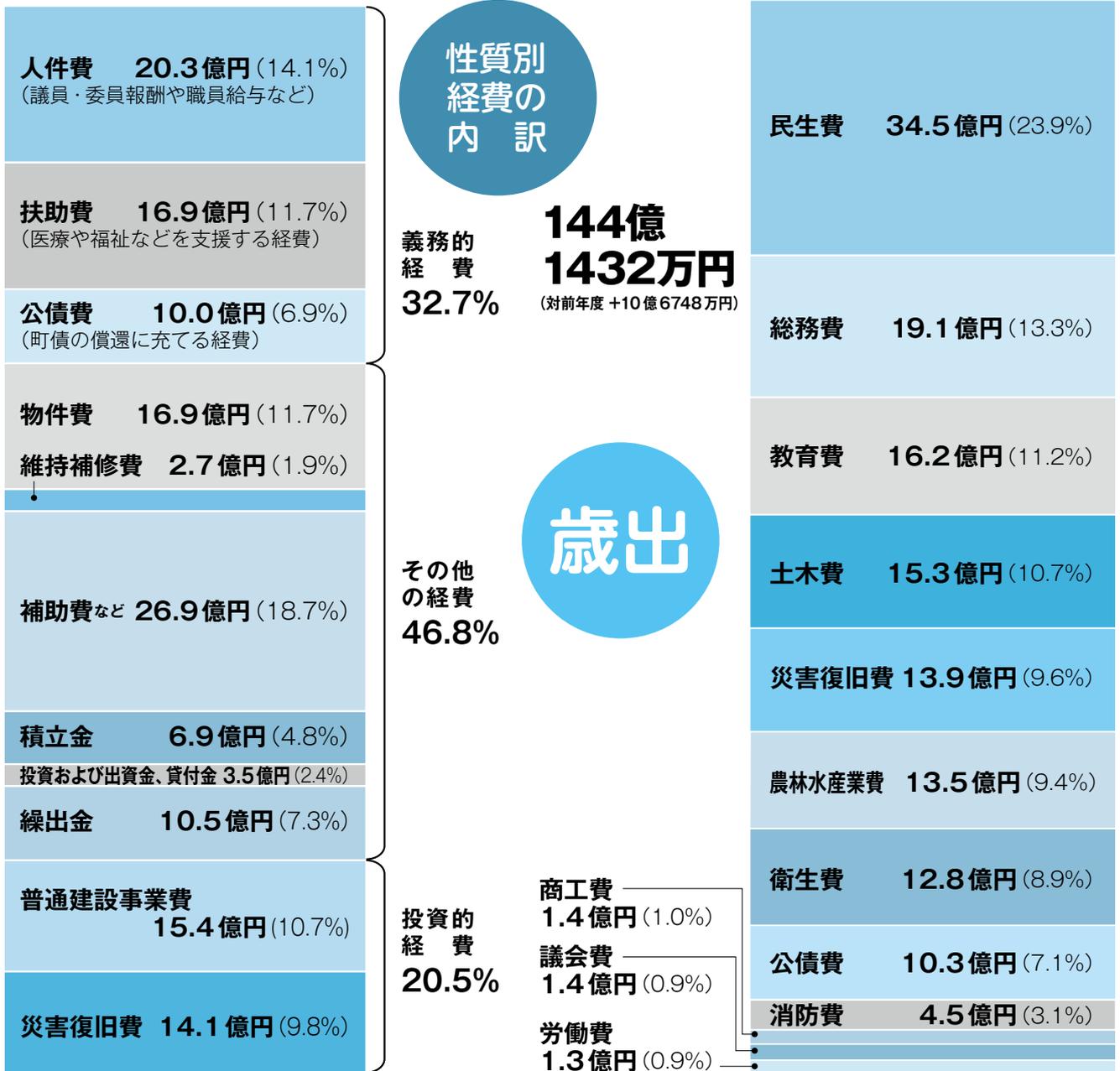
譲与税 2.3億円 (1.6%)

金額・パーセンテージは端数処理のため、合致しない場合があります。



平成26年度の決算額は、歳入が149億5594万7千円、歳出が144億1432万2千円で、平成27年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支額は3億2770万3千円、単年度収支は211万5千円の黒字となり、財政調整基金の積立て・取り崩しを除いた実質単年度収支も1億1832万円の黒字となりました。

大規模建設事業が一段落したものの、大雨災害の復旧や国の経済対策に対応するため、歳入で7.0%、歳出で8.0%の増加となりました。



歳入は、前年度に比べ、地方交付税が3億1千万円減少したものの、災害復旧や経済対策交付金などの国庫支出金や地域の元気臨時交付金の基金繰入金の増加により全体としては増加となりました。町債は臨時財政対策債の発行が減少しましたが、いわて国体に合わせた施設整備の財源を必要としたため、ほぼ前年度並みとなりました。町税は、全体で3千万円増加しており、町民税、固定資産税が増加していますが、たばこ税が減少しています。

歳出は、災害復旧費が7億円の大幅な増加となっています。大雨災害の復旧費用は約30億円となる見込みですが、そのうち約20億円が完了しました。非常に大きな災害であったため、平成27年度も引き続き復旧を行っています。農林水産業費が4億9千万円減少しているのは、東日本大震災農業生産対策事業の完了によるものです。公債費は前年度並みですが、いわて国体のための施設整備事業や災害復旧事業の財源を確保するために起債したことから、町債の現在高は111億円となりました。

歳出

歳入

歳出内訳

議会費	議員報酬・手当…7799万円	農林水産業費	森林整備加速化・林業再生事業…6318万円 下水道事業(農業集落排水)繰出…4億3082万円
総務費	行政区長報酬など…3164万円 ICT推進…9810万円 広聴広報…2351万円 庁舎管理…3731万円 庁舎建設…5821万円 交通対策…3535万円 情報交流館・地域交流センター運営…2713万円 戸籍住民基本台帳…1912万円 選挙事務…2257万円	商工費	商工業振興事業補助金…1100万円 中小企業振興資金貸付預託金…3300万円 温泉保養公園・温泉源泉管理…1913万円 消費者救済資金預託…1700万円
民生費	社会福祉協議会運営費等補助…3140万円 高齢者生活福祉センター運営…1002万円 敬老会・老人クラブ補助金…1168万円 障害者自立支援給付…4億6492万円 障害者地域生活支援…2434万円 福祉医療費給付…1億4901万円 国保事業繰出…1億9780万円 介護保険事業繰出…3億7103万円 後期高齢者医療…4億53万円 児童手当…5億2386万円 保育所…5億3795万円 児童館…8067万円 こどもの家・こどもクラブ…4446万円 臨時福祉給付金…7365万円 子育て臨時給付金…4007万円	土木費	街路灯などの維持管理…1251万円 町道維持管理…1億474万円 道路除雪…1億2081万円 街路事業(北日誌朝日田線)…8484万円 都市基盤整備事業…1億2534万円 紫波中央駅前都市整備事業…1860万円 公園施設管理…2117万円 公営住宅管理…3427万円 震災生活再建住宅支援…1868万円 下水道事業(公共下水道)繰出…5億9683万円
衛生費	予防接種(定期)…5652万円 予防接種(任意)…2006万円 母子保健…2888万円 成人保健…5688万円 火葬場…9400万円 ごみ処理…5億158万円 し尿処理…8126万円 下水道事業(小規模・浄化槽)繰出…2956万円 広域水道出資…2億1756万円	消防費	盛岡地区広域消防組合負担金…3億1338万円 消防団員報酬…1748万円 消防ポンプ自動車購入(第4分団第2部、第8分団第2部)…3869万円
労働費	緊急雇用創出…1億710万円	教育費	小・中学校管理費…2億8183万円 小・中学校スクールヘルパー…1465万円 小学校複式学級指導講師…703万円 中学校適応支援相談員…395万円 小・中学校教育用情報機器借上…2054万円 小・中学校就学援助…3037万円 日誌小学校プール改築…4772万円 紫波第一中学校トイレ改修…5259万円 私立幼稚園補助金…5183万円 文化財調査…986万円 野村胡堂・あらえびす記念館…2997万円 公民館運営…1億1257万円 図書館運営…3966万円 保健体育推進…4901万円 体育施設管理…7256万円 いわて国体準備…1億6762万円 給食センター管理…7510万円 学校給食費…1億7096万円
農林水産業費	農業委員報酬…662万円 国営土地改良負担金…2億3863万円 フルーツパーク運営…2692万円 新規就農支援…2963万円 エコ3センター(堆肥・炭・ペレット)…4759万円 中山間地域直接支払交付金…6017万円 水田暗渠排水整備…3113万円 農地・水・環境保全向上対策…7494万円 農業・林業簡易給水施設…5936万円 森林病虫害駆除…1344万円	災害復旧費	大雨災害復旧(道路)…4億4613万円 (河川)…4億6740万円 (農地など)…2億4242万円 (林道)…5617万円 (公園)…1億1658万円
		公債費	地方債償還金(元金)…8億6170万円 (利子)…1億3948万円

特別会計・企業会計決算総括表

会計名		歳入	歳出	一般会計からの繰入金	(割合)	
特別会計	国民健康保険事業	36億7077万円	35億6125万円	1億9780万円	5.4%	
	後期高齢者医療	2億4652万円	2億4587万円	7692万円	31.2%	
	介護保険事業	27億593万円	27億1754万円	3億7103万円	13.7%	
	介護予防サービス計画事業	747万円	721万円	—	—	
	合 計	66億3069万円	65億3187万円	6億4575万円	9.7%	
企業会計	下水道事業	収益的収支	13億4150万円	13億7616万円	9億1645万円	68.3%
		資本的収支	3億2285万円	10億2611万円	1億4075万円	43.6%

健全化判断比率・ 資金不足比率の公表

健全化判断比率は、町の財政状況の健全度を示す比率です。4つの指標のいずれかが早期健全化基準以上となると、法律による「財政健全化計画」を定め、財政の早期健全化を図らなければなりません。また、財政再生基準以上になると、国の管理下で再建に取り組む「財政再生団体」となります。

町の健全化判断比率は、4指標とも早期健全化基準を下回っています。

健全化判断比率と各基準の比較 (%)

名称	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.70	20.0
連結実質赤字比率	—	18.70	30.0
実質公債費比率	11.8	25.0	35.0
将来負担比率	89.8	350.0	

●実質赤字比率……………なし

町の普通会計の赤字の程度を表します。実質赤字額がないので指標はありません。

●連結実質赤字比率……………なし

町全体としての赤字の程度を表します。全ての会計において実質赤字額・資金不足額がないので指標はありません。

●実質公債費比率……………11.8%

町が負担した実質債務の返済額の比率で、数値が高いほど1年間の返済負担が重いことを示しています。

●将来負担比率……………89.8%

町が将来的に負担する可能性のある債務の総額が、1年間の収入と比べてどのくらいかを示しています。

●資金不足比率……………なし

公営企業の事業規模に対する資金不足額の比率で、資金不足額は、一般会計における赤字に相当するものです。全ての公営企業会計において、資金不足額がないので指標はありません。

資金不足比率と基準の比較 (%)

公営企業会計名称	比率	経営健全化基準
下水道事業会計	—	20.0

住民1人当たり決算額

歳入

自主財源	町 税	町民税、軽自動車税、たばこ税など	91,982円
	使用料・負担金など	施設使用料、事業負担金	13,963円
繰入金	繰入金	基金の取り崩し	18,137円
	繰越金	前年度繰越金	18,820円
諸収入等	諸収入等	給食費、団体からの助成金	19,723円
	地方交付税	行政水準の維持のため交付	125,641円
依存財源	譲与税	揮発油税・自動車重量税	6,934円
	交付金	地方消費税、ゴルフ税	12,016円
	国・県支出金	特定の事業への経費助成	99,917円
	町 債	建設事業資金の借入れ	36,717円
計			443,850円

町債残高

総額	1人当たり
111億2863万円	330,266円

基金残高

総額	1人当たり
20億2349万円	60,051円

歳出 (目的別)

議会費	議会活動	4,050円
総務費	財産管理、税務、戸籍、選挙	56,653円
民生費	子ども、高齢者、障害者	102,255円
衛生費	保健衛生、ごみ・し尿、水道	37,960円
労働費	雇用支援	3,868円
農林水産業費	農業・林業	40,125円
商工費	商工業、観光、消費者	4,230円
土木費	道路、下水道、公園、住宅	45,503円
消防費	消防活動	13,452円
教育費	学校、公民館、保健体育	47,981円
災害復旧費	災害復旧	41,214円
公債費	借入金返済、返済金積立	30,484円
計		427,775円

歳出 (性質別)

人件費	議員・委員報酬、職員給与	60,130円
物件費	消耗品購入、委託料、賃金	50,148円
維持補修費	施設・設備の修繕	8,012円
扶助費	医療や福祉などの支援	50,121円
補助費等	事業・団体への負担金・補助金	79,935円
普通建設事業費	施設・設備の改修・整備	45,672円
災害復旧事業費	災害復旧工事・補助金	41,833円
公債費	借入金・利息の返済	29,714円
積立金	基金への積立	20,681円
投資及び貸付金	上・下水道事業への出資	8,637円
貸付金	中小企業・消費者救済など	1,662円
繰出金	国保・介護など特別会計へ	31,230円
計		427,775円



環境負荷の少ないごみ・し尿処理を目指して

～県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想～

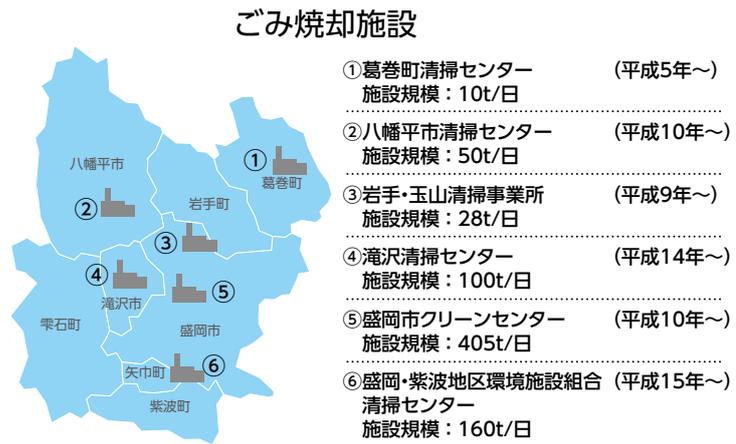
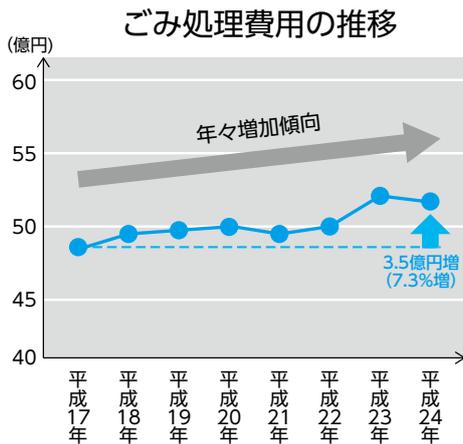
県央8市町で進める広域化

国内では現在、効率的なごみ処理や環境負荷の低減、ごみ焼却の際に発生する熱エネルギーを利用したサーマルリサイクルの推進による循環型社会の形成を目指すため、ごみ処理やし尿処理施設を共同で整備し、運営維持管理していくことが進められています。

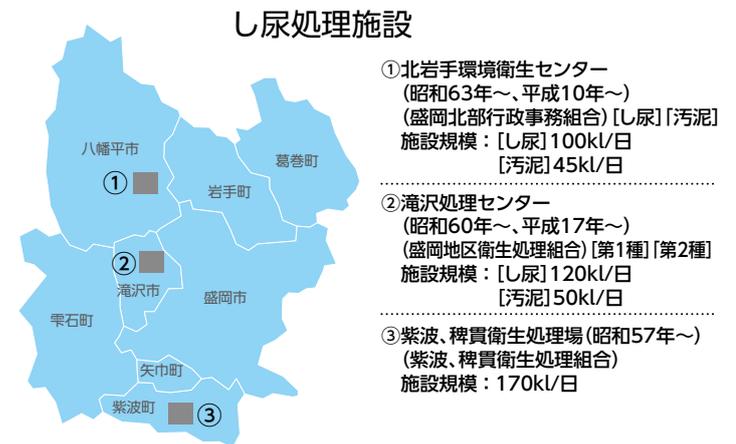
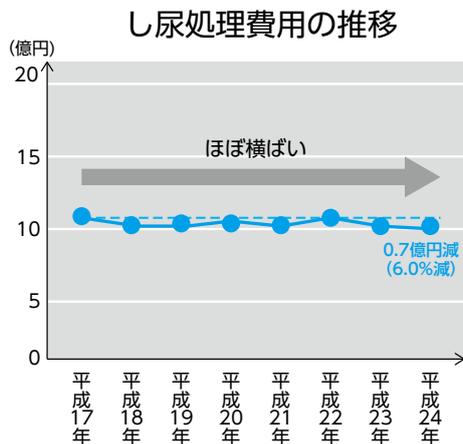
盛岡市、八幡平市、滝沢市、栗石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町の3市5町と、ごみ・し尿処理の一部事務組合6団体で構成される「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」では、県のごみ処理広域化計画などを踏まえ、ブロック内の廃棄物処理の方向性や費用、環境負荷などの検討を進めてきました。今年1月には、パブリックコメントや住民説明会などでいただいた意見を踏まえ「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」を策定しました。

ごみ・し尿処理施設の現状と課題

【ごみ処理】 県央ブロックには、6つのごみ焼却施設があります。いずれの施設も使用年数が経過しているため、維持管理の費用が増加しており、建て替えの検討が必要となっています。



【し尿処理】 県央ブロックには、3つのし尿処理施設があります。そのうち、紫波、稗貫衛生処理組合は平成30年度に解散を予定しており、紫波町と矢巾町では新しい処理施設の建設を検討しています。構想にはありませんが、具体的には、現在のし尿処理場を活用して下水道に投入する方式を考えています。その他の市町でも、し尿処理を集約する際の処理先の検討が必要となります。



新ごみ焼却施設は平成41年度から稼働開始予定

県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会では、既存のごみ焼却施設を平成40年度まで使用し、平成41年度からは1施設に集約した新ごみ焼却施設で広域処理を行う計画です。新ごみ焼却施設の建設地は、ブロック内の地勢やごみの排出量、人口規模を勘案して盛岡市を想定しています。また、し尿処理施設は各市町の処理先について検討し、将来的な集約化についても検討します。

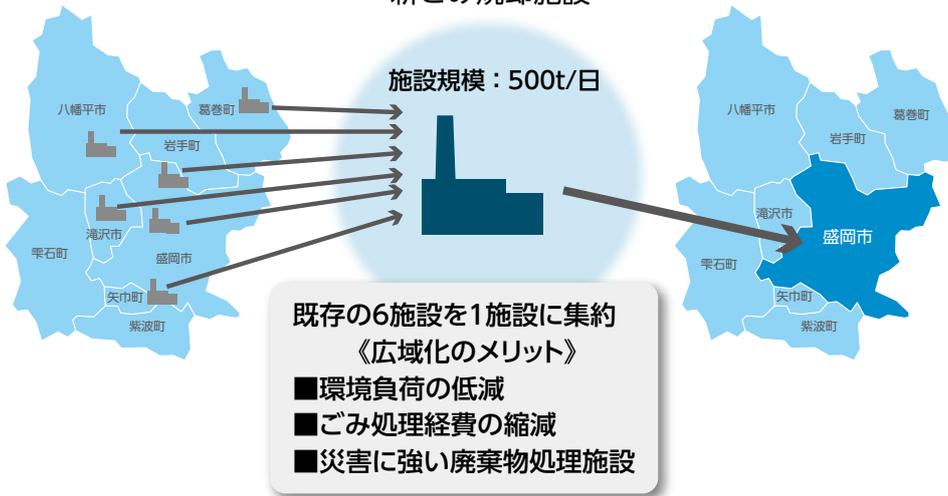
今後は本構想に基づいて、新組織設立に向けた準備事務や建設候補地の選定、各種計画策定などを行ってまいります。

年度	今後の取り組み
27～29年度	新ごみ焼却施設の建設候補地の選定 新組織設立に向けた検討
30～36年度	施設整備基本計画 環境影響評価など
37～40年度	建設工事
41年度～	新ごみ焼却施設稼働開始



新ごみ焼却施設

施設規模：500t/日



既存の6施設を1施設に集約
《広域化のメリット》

- 環境負荷の低減
- ごみ処理経費の縮減
- 災害に強い廃棄物処理施設

構想についての住民説明会

町は次の日程で、構想についての住民説明会を開催します。お気軽にお出かけください。

- 10月21日(水) 午後7時～8時 彦部公民館
- 10月22日(木) 午後7時～8時 志和公民館
- 10月24日(土) 午後7時～8時 情報交流館 2階 大スタジオ

★構想の詳細は環境課や各地区公民館に備え付けているほか、町のホームページにも掲載しています。

環境にやさしい買い物キャンペーン～10月は「3R推進月間」です～

日常の買い物と環境問題は密接に関係しています。買い物の段階からごみとなるものを減らし、環境にやさしい買い物をしましょう。皆さんもこの機会に、今一度買い物について見直してみませんか。

- 買い物にはマイバックやマイバスケットを持参し、レジ袋は辞退する。
- つめかえ製品を選び、本体の容器は繰り返し使用する。
- スプーンや割り箸は家にあるものを使用し、使い捨てのものはもらわない。
- 過剰包装は辞退して、簡易包装にしてもらう。
- 長く使えるものや修理可能なものを購入して、長く大事に使う。
- 再生資源利用製品(リサイクル製品)を選ぶ。

※3Rとは、リデュース (Reduce) = ごみになるものを減らすこと、リユース (Reuse) = ものを繰り返し使用すること、リサイクル(Recycle) = 資源として再び利用することの3つのRの総称で、ごみ減量のための取り組みのことです。

わずかな努力の
積み重ねで、ごみを減らす
す大きな力となります。



エコロル

【問合せ】環境課 生活環境室 ☎672-2111 内線2260・2261



インフルエンザ予防接種 希望する対象者に補助します

インフルエンザ予防接種は、昨年まで3種類のインフルエンザウイルスに対応したワクチンでしたが、今年から4種類に対応したワクチンに変わります。

町は本年度、予防接種を希望する次の対象者に、接種費用の一部を補助します。

種 類	高齢者インフルエンザ予防接種 (B類疾病 定期接種)	小児インフルエンザ予防接種 (任意接種)
対 象 者	①65歳以上の人 ②60～65歳未満で心臓・じん臓または呼吸器の重い障害、免疫機能の障害のある人(身体障害者手帳1級該当者)	生後6カ月～中学3年生
実 施 期 間	10月20日(火)～平成28年1月31日(日) 期間外の接種は補助金の対象外です。	
補 助 回 数	高齢者:1回 小 児:接種日時時点で13歳未満は2回、13歳以上は1回。	
補 助 金 額	補助額:1回2000円 各医療機関の接種料金から補助金額を超過した分は、自己負担となります。ただし、生活保護を受けている人は全額分を補助します。	
予 診 票	紫波町・矢巾町・盛岡市の指定委託医療機関に設置しています。 ◆中学1年生で、2回目の接種を希望する人(13歳未満)には、長寿健康課で予診票を配付します。	
実 施 方 法	指定委託医療機関に個別に予約し、年齢確認のための保険証を持参して接種を受けてください。	指定委託医療機関に個別に予約し、年齢確認のための母子健康手帳または保険証を持参して接種を受けてください。
長 寿 健 康 課 で 事 前 手 続 が 必 要 な 人 (持 ち 物)	①生活保護を受けている人 ②60～65歳未満で上記予防接種対象者 ③指定委託医療機関以外で接種を希望する場合 (持ち物)認印、②の人は身体障害者手帳	①生活保護を受けている人(指定委託医療機関で接種する場合のみ) ②中学1年生で2回目の接種を希望する人(13歳未満) (持ち物)認印、②の人は1回目の接種済証

※対象年齢が「13歳未満」の場合は、「13歳の誕生日の前日まで」が接種期間です。

催し 肝炎相談会

C型肝炎、B型肝炎ウイルス陽性の人を対象に、専門医の個別相談会を開催します。肝炎の治療内容などについて、お気軽にご相談ください。

■日 時 10月25日(日) 午後1時～(相談時間は1人20分)

■会 場 役場 1階 はつらつホール

■相談医 あべ菜園内科クリニック 院長 阿部 弘一先生
岩手医科大学 消化器・肝臓内科 宮坂 昭生先生

■定 員 先着20人

■申込・問合せ 10月23日(金) 正午まで

長寿健康課 健康推進室 ☎672-2111 内線1343 有線01-8932



福祉と健康
すこやか
情報

生活困窮者自立支援 制度が始まりました

盛岡広域振興局は、今年4月から生活困窮者自立相談支援事業を岩手県社会福祉協議会に委託し、「いわて県央生活支援相談室」を開設しました。生活・就労・福祉などの問題解決に向け、関係機関と連携しながら専門の相談員が一緒に取り組む相談窓口です。

このようなことで困っていませんか？

- ・生活に困っている
- ・収入が少なく電気、ガス、水道が止められそう
- ・家賃を払えない
- ・貯金が底を突いてしまった
- ・仕事が見つからない
- ・住むところがない
- ・失業期間が長くなり不安だ
- ・離職後、アパートを追い出された
- ・将来が不安だ
- ・社会に出るのが怖い
- ・家族のことで悩んでいる
- ・病気で働けない

上記のような困りごとなど、どのような相談もお受けします。本人はもちろん、ご家族など周りの人からの相談も可能です。窓口に行くことができない場合には、相談員が訪問することもできますので、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

■問合せ

○役場 福祉課 福祉推進室

☎(072)2111

内線1220

○社会福祉協議会

☎(072)3258

または、

《いわて県央生活支援相談室》

岩手県社会福祉協議会

(盛岡市三本柳8-1-3 ふれあい

ランド右手内)

☎(03)4473

受付時間 午前8

時30分～午後5時

15分(土日・祝日

を除く)



ナスと大葉のはさみ揚げ

からだよろこび
ヘルシーレシピ

紫波町食生活改善推進員協議会 水分地区会員 水田好子さんのレシピです



材料 (4人分)

ナス…… 太めのもの4本
大葉…………… 4枚
木綿豆腐…………… 1/2丁
高野豆腐…………… 1個
芽ひじき…………… 5g
ニンジン…………… 1本
枝豆…………… 100g
豚ひき肉…………… 100g

小麦粉…………… 大さじ5
しょうゆ…………… 小さじ1
しょうゆ…………… 10cc
砂糖…………… 10g
★ウスターソース… 20cc
水…………… 25cc
片栗粉…………… 小さじ1
揚げ油…………… 適宜
天ぷら粉…………… 適宜

- 1 ナスは1cmの厚さの輪切りにする。
- 2 木綿豆腐はしっかり水切りしておく。
- 3 芽ひじきは水でもどす。高野豆腐はおろし器ですりおろしておく。
- 4 ニンジンは皮をむいてみじん切り、枝豆はゆでてさやかに出し、粗いみじん切りにする。
- 5 ひき肉に234を混ぜ、小麦粉としょうゆを加えてさらによく混ぜ合わせる。
- 6 5を半分の量に分け、さらにそれぞれを8等分にし、7～8mmの厚さの丸型に整える。
- 7 半分に分けた一方は輪切りのナスにはさむ。残りの半分は、大葉を二つ折りにしてはさむ。
- 8 天ぷら粉を水で溶き、7に薄く衣をつけて油で揚げる。
- 9 ★の材料を混ぜて加熱し、3にかけたら出来上がり。

「子ども医療費助成」が拡大

小学2～6年生の入院が対象

今年8月から、小学2年生から6年生までの児童の入院にかかる医療費の一部助成を開始しています。

■**対象者** 小学2～6年生（小学1年生以下の子どもは、入院・外来ともに医療費助成の対象になっていません）

■**給付の内容** 医療保険で入院診療を受けたときに支払った自己負担額から、医療機関ごとにひと月5000円を差し引いた額

※所得制限がありますので、町のホームページ（紫波町子ども医療助成拡大のお知らせ）で検索をご確認ください。

※住民税非課税世帯の人は、医療保険で入院診療を受けたときに支払った自己負担額が給付されます。

※食事代や差額ベッド料など、医療保険対象外の費用は給付されません。

■**受給者証の交付申請**
申請は、町民課で随時受け付けています。

■**手続きに必要なもの**
①児童の健康保険証

②保護者の所得が確認できる書類（今年1月1日現在、町に住民登録をしている人は原則不要です）

例）・住民税・県民税特別徴収税額の通知書（納税義務者用）
・住民税・県民税納税通知書（課

税明細が記載してある部分）
・所得課税証明書（所得額、控除額、扶養人数、課税・非課税の記載があるもの）

※源泉徴収票での手続きはできません。
③預金通帳（受給者本人または保護者のもの）

④印鑑

■**給付手続きの進め方**
1. 医療機関の窓口を受給者証と保険証を提示した上で、医療費助成給付申請書を提出する。

2. 自己負担額を支払う。
・後日（約3カ月後）、給付額が口座に振り込まれます。

・高額療養費に該当する場合は、原則として委任状をいただき、町が手続きをします。

※県外の医療機関にかかった場合や、受診月に給付申請書を提出できなかった場合は、「子ども医療費給付申請書」に領収証（コピー可）を添付して、町民課の窓口で給付手続きを行ってください。

■**申請・問合せ**
町民課 保険年金室

☎（672） 2111

内線 1261～1265

検診のお知らせ

大腸がん検診無料 クーポン券をご利用ください

日本のがん検診受診率50%を目標に大腸がん対策を実施しています。対象者には、無料クーポン券とがん検診手帳を郵送していますので、同封の案内をご覧ください。無料クーポン券を使って検診を受診してください。

【クーポン券対象者】

今年4月20日現在に町に住民登録している下記の生年月日に該当する人

生 年 月 日
昭和49年4月2日～昭和50年4月1日生
昭和44年4月2日～昭和45年4月1日生
昭和39年4月2日～昭和40年4月1日生
昭和34年4月2日～昭和35年4月1日生
昭和29年4月2日～昭和30年4月1日生

■**転入された人へ** 対象年齢に当たる人で、今年4月20日以降に転入して住民登録された人は、長寿健康課健康推進室までご連絡ください。

秋の総合検診

春に行われた総合検診を受けられなかった人を対象に、秋の総合検診を行います。まだ受けていない人は、この機会に受診してください。

日 程	対象地区
11月12日(木)	彦部・佐比内・赤沢・長岡
11月13日(金)	日詰・水分・志和
11月14日(土)	古館・赤石
11月15日(日)	全地区対象

■**受付時間** 午前7時30分～10時30分

■**会場** 役場 1階 はつらつホール

■**対象者** 春の総合検診を受けていない人

■**検診内容** 基本健康診査、特定健康診査、後期高齢者健康診査、胃がん検診、肺がん検診、結核検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検査

■**大腸がん検診を希望する人へ** 10月26日から11月11日までの期間に容器と問診票を配布しますので、長寿健康課で手続きをしてください。

★**詳細は、広報と一緒に全戸配布している「秋の総合検診のお知らせ」をご覧ください。**

1 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 採用の状況(平成27年度)

一般事務職	技術職	保育士	社会福祉士	計
5人	1人	3人	-	9人

(2) 退職の状況(平成26年度)

定年退職	勸奨退職	自己都合退職	割愛・退職派遣	その他	計
7人	1人	1人	-	-	9人

(3) 職員数の推移(各年4月1日現在)

21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
244人	243人	243人	244人	244人	239人	242人

2 職員の給与の状況

(1) 平均給料と平均年齢の状況(平成27年4月1日現在)

	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	301,017円	41.6歳
技能労務職	320,819円	48.0歳

※平均給料月額：基本給の平均 ※技能労務職：用務員、運転手、調理師

(2) 初任給の状況(平成27年4月1日現在)

区分	初任給
一般行政職	大学卒 174,200円
	高校卒 142,100円
技能労務職	高校卒 139,500円

(3) 職員手当の状況

① 期末・勤勉手当(平成27年4月1日現在)

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.6月分
勤勉手当	0.75月分	0.75月分	1.5月分

※支給割合は国と同じ

② 時間外等勤務手当(平成26年度普通会計決算)

支給総額	55,876千円
支給対象職員一人当たり支給年額	310千円

③ 特殊勤務手当(平成26年度普通会計決算)

職員全体に占める手当支給職員の割合	9.0%
支給対象職員の平均支給年額	26,756円
手当の種類	8種類
主な手当の名称	税務手当、道路上作業手当等

※著しく困難な仕事などに携わる職員に支給

④ 扶養・住居・通勤手当(平成27年4月1日現在)

区分	内容
扶養手当	配偶者 月額 13,000円
	配偶者以外の扶養親族 月額 6,500円
住居手当	月額12,000円以上の家賃支払者 限度額27,000円とし家賃の額に応じて支給
通勤手当	自家用車等使用者 限度額29,800円とし通勤距離に応じて支給

※通勤手当は、通勤距離が片道2km以上の職員に対して支給

(4) 特別職の報酬等の状況(平成27年4月1日現在)

区分	報酬など月額	期末手当
町 長	741,000円	6月期 1.40月分 12月期 1.55月分 計 2.95月分
副 町 長	591,700円	
議 長	338,000円	
副 議 長	275,000円	
議 員	248,000円	

※平成27年度は町長・副町長の給料月額を町長は5%、副町長は3%減額して支給

3 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間(平成27年4月1日現在)

勤務時間	休憩時間
午前8時30分～午後5時15分	正午～午後1時

※勤務場所や職種によって異なる場合があります。

(2) 主な休暇、休業の種類と概要

職員の休暇制度には、年次休暇、病気休暇、特別休暇(夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、親族の死亡休暇など)、介護休暇があります。また、休業制度には、育児休業などがあります。

(3) 年次有給休暇の取得状況(平成26年1月1日～12月31日)

一人当たり平均取得日数	8.8日
-------------	------

(4) 育児休業の取得状況(平成26年度新規取得)

区分	男性	女性	計
取得者数	0人	3人	3人

4 職員の分限および懲戒処分の状況

(1) 分限処分 休職 1人(病気)

(2) 懲戒処分 戒告 2人(交通法令違反、不適切事務処理および信用失墜行為)

5 職員のサービスの状況

(1) 職務専念義務免除の状況

職員が研修を受ける場合や人間ドック受診などの厚生事業に参加する場合には、任命権者の承認を得ることにより、職務に専念する義務が免除されます。

平成26年度 承認件数	32件
-------------	-----

(2) 営利企業等従事許可状況

職員が営利を目的とする会社などの役員を兼ねたり、報酬を得て事業や事務に従事する場合は、任命権者の許可を受ける必要があります。

平成26年度 許可件数	15件
-------------	-----

6 職員の研修および勤務成績の評定の状況

(1) 研修の実施状況(平成26年度実績)

区分	研修名	受講者数
専門機関	市町村アカデミー	6人
	日本経営協会主催研修	
岩手県市町村職員研修協議会	階層別研修	41人
その他	専門研修	10人
	特別研修	26人
職場研修	メンタルヘルス・接遇ほか	68人
	施策提案・接遇ほか	109人

(2) 勤務成績の評定状況

評定の時期	評定結果		
	成績良好	成績不良	合計
平成27年1月	223人	7人	230人

※病気休職者、育児休業者、職務の級の最高の号給を受ける職員は除いています。

7 職員の福祉および利益保護・福利厚生事業の状況

(1) 健康診断の状況(平成26年度実績)

区分	対象者数	受診者数	受診率
生活習慣病予防健診	245人	239人	97.6%
胃がん検診(35歳以上)	188人	141人	75.0%
人間ドック(35・40・45・50・55・60歳)	39人	14人	35.9%

※人間ドック対象者は、紫波町職員互助会の助成対象としている職員を計上しています。

(2) 福利厚生の状況

地方公務員法第42条に基づく町職員互助会のほかに、県市町村職員健康福利機構に加入し、職員の健康管理事業などの福利厚生事業を行っています。町職員互助会の経費は、職員からの会費と町の補助金で運営され、給付事業は全て職員会費のみで行っています。

職員互助会経費	職員会費	町補助金
	1,079,405円	491,603円

(3) 公平委員会に係る業務の状況

平成26年度において、勤務条件に関する措置の要求や不利益処分に関する不服申立てなどはありませんでした。

教育振興だより

47号

願い

子どもたちの学力向上、健全育成、健康安全

全県共通課題

家庭学習の充実 読書活動の推進
「メディアとの上手な付き合い方」

5者とその責任（5R運動）

- 子ども 学習意欲を高める
- 親 家庭教育を充実させる
- 教師 学校教育を充実させる
- 地域 地域社会の教育環境を整える
- 行政 さまざまな教育条件を整備充実させる



教育振興運動は今年、新たなステップを歩み始めました。これまで、学校・家庭・住民などが絡ぐるみで取り組んできた「家庭学習」や「読書」と並行して「メディアとの上手な付き合い方」を学ぶ取り組みを進めています。

また、小学校区ごとに設けられている実践協議会では、今年も地区の特色を生かしながら新たな視点も取り入れて活動を継続しています。本年度上半期に、各実践区から寄せられた活動を紹介します。

彦部地区 実践協議会

「彦部田植踊り」伝承活動



運動会での田植踊りの披露

彦部小学校では、郷土芸能の「彦部田植踊り」の伝承活動を昭和57年から行っています。

毎年5月の運動会と、2月に行われる彦部公民館まつりで2年に一度、発表の機会があります。練習会は芸能保存会の協力を得て行っており、同保存会は、後継者育成として月に2回、彦部公民館で笛の練習会を開いています。

本年度は文化庁から事業補助金をいただき、田植踊りで使う「ぼくどう」を作り、運動会で披露することができました。今後は、12月に野村胡堂・あらえびす記念館で開かれる不来方高校音楽部クリスマスコンサートの際に発表する予定です。



公民館での笛の練習会

あいさつをレベルアップしよう

家庭と学校と地域の気持ちが一つに結ばれることを願い、ここ数年、あいさつ運動を継続しています。学校では児童会が中心になって、進んで、明るく、相手の名前を入れた「レベルアップあいさつ」に取り組んでいます。日頃からお世話になっているスクールガードさんや地域の皆さんにも積極的にあいさつができるようになってきています。

今年の教育振興運動の新たな取り組みとして、「あいさつ標語コンクール」を行いました。各学年の優秀賞をお知らせします。

- 1年 阿部 吏秀 おはようで みんなのおかが うれしそう
- 2年 小田中愛佳 あいさつは 元気のみなもと みんなのえがお
- 3年 伊藤 充優 おはようで すがすがしい朝 はじまるよ
- 4年 佐藤 栞菜 あいさつは 広がるえ顔の みなもとだ
- 5年 浦田 唯花 おはようは みんなの幸せ 運びます
- 6年 大槻 晃仁 いただきます 命のめぐみに 感謝して

あいさつ標語のようにすてきなあいさつが交わされる地域にしたいと願っています。

上平沢地区 実践協議会



児童会執行部によるあいさつ運動

赤石地区 実践協議会

情報メディアについて学ぶ 赤石地区懇談会



熱心に話し合う参加者

赤石小学校で6月24日、地域の方々が一堂に会して、赤石地区懇談会が開催されました。本年度は、県教育振興運動の新たな共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」をテーマに設定しました。

懇談会では、まず県総合教育センターの熊谷明宏氏を講師に情報メディアの実態について学び、続いて子どもたちと情報メディアとの上手な付き合い方についてグループごとに意見交流を行いました。事後には、大人の側がもっと情報メディアについて学ぶ必要があるなど、今後につながる有意義な感想を出し合いました。

楽しく学び交流 「子ども憩いの広場」

長岡地区 実践協議会

長岡実践区では、小中学生を対象に夏休み中の学習支援として「子ども憩いの広場」を毎年開催しています。今回、小学生は、KOTOSE音読教室による読み聞かせと紫波町のネイティブ・イングリッシュ・ティーチャー（NET）の3人による英語教室「英語で遊ぼう」を行いました。また、中学生は、食の匠の細川玲子さんを講師として、地元の食材を使ったおやつ作りを体験しました。たくさんの小中学生が参加し、活動の最後には、中学生の作ったおやつを囲み、参加者全員で会食を楽しみました。



NETの皆さんを囲んでの会食

水分地区 実践協議会

集中して学習できた 夏休み勉強会



集中して学習に取り組む子どもたち

毎年恒例の夏休み勉強会が、7月30、31の両日、水分公民館で行われました。参加する子どもは年々増えてきていて、今年は全校児童の78%という参加率になりました。会場の和室に学年ごとに座った子どもたちは、自分の課題に集中して取り組みました。分からない問題があると、先生や講師の地域の方に質問したり、友達と教え合ったりしていました。途中には楽しいおやつタイムもあり、充実した時間を過ごすことができました。

お知らせ

教育振興運動のホームページをご覧ください。紫波町教育委員会事務局 (<http://www.office.shiwacho.ed.jp>) のメニューから「しわの教振」を開くと、町内の教振実践区の活動が紹介されています。

健やかな子どもを育む地域活動

(表1)平成26年度 紫波町学校保健統計調査結果(文部科学省調査より)

学 年	肥満傾向出現率 (%)	体力・運動能力					
		シャトルラン (折り返し回数)		50m走 (秒)			
		紫波町	全 国	紫波町	全 国		
男子	小3	11.97	7.57	37.48	37.67	10.31	10.11
	小6	14.20	10.28	61.75	62.62	10.10	8.90
	中2	14.45	8.94	80.14	90.07	7.86	7.85
女子	小3	9.27	6.24	27.55	28.25	10.58	10.45
	小6	10.60	8.56	49.00	48.90	9.26	9.12
	中2	10.11	7.89	59.89	59.73	8.87	8.75

町学校保健統計調査から見える
紫波の子どもの像とは？

毎年実施している子どもの健康と運動能力の調査で、昨年度の集計結果が出ました。それによると、町の子どもの出現率が高くなっています(図1)。また、運動能力のうち、持久力の目安となるシャトルラン、瞬発力の目安となる50m走は、シャトルランの小6、中2女子を除き、全国を下回っています(表1)。

この結果から、町の子どもたちは「運動能力が低く肥満傾向」にあるといえます。

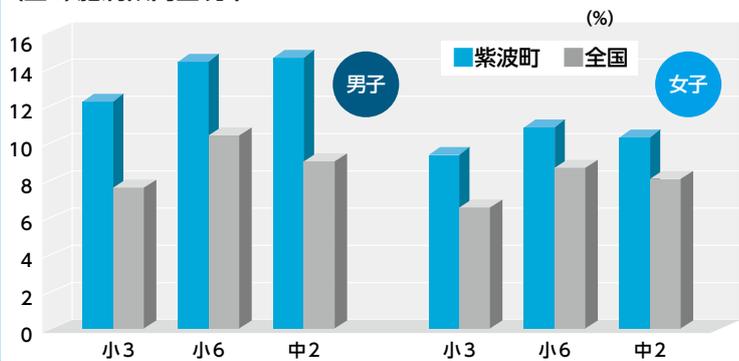
自然体験・生活体験が大切

(独) 青少年教育振興機構が平成24年度に行った調査によると、自然体験・生活体験が豊富な子どもほど「体力に自信がある」傾向があり、自己肯定感も高いことが分かりました。このことから、子どもたちの健やかな成長には、家庭や地域、学校などでの多様な体験が重要であると考えられます。

教振の事業に参加してみませんか

町教育振興運動実践協議会は、子どもの肥満解消や体力向上につながる「早寝早起き3度のごはん」「元気で歩いて登校」のような生活習慣の改善を呼びかけています。また、ページで紹介しているように体験活動を取り入れたさまざまな事業に取り組んでいます。地域の方々に関わりながら、たくさんの方々が参加できる教振の事業に、皆さんも親子で参加してみませんか。地域の活性化に、親子の触れ合い、子どもの体力向上に、きっと良い効果が表れるでしょう。

(図1)肥満傾向出現率



☆子どもとの約束を確認していますか？「わが家の教振ステッカー」☆

「紫波の教振」第7号(6月全戸配布)の裏面に「わが家の教振ステッカー」が付いています。子どもとの約束を書いて貼って使いましょう。「ゲームの時間は1日〇分」「スマホの使用は〇〇時まで」「毎日読書を〇分」「毎日お手伝い〇〇〇」「朝起きたら、元気におはよう」など、子どもとの約束が目に見えるようにご活用ください。

「紫波の教振」第7号は教振事務局(役場3階教育委員会)にあります。ご希望の人はご連絡ください。

今年でワイン販売開始から10年

造りたての新酒味わうワインまつり



大勢の来場者でにぎわった会場

秋晴れに恵まれた10月3、4の両日、紫波フルーツパーク内で紫波ワインまつりが開かれました。今年で販売開始から10年目を迎えた自園自醸ワインや新酒のにごりワイン「紫波ヌーボ」のほか、町の旬の味覚などを味わおうと、2日間で約1万人が来場するにぎわいとなりました。盛岡市から親子4人で訪れた桐田貴博さんご家族は「ワインは4本ほどボトルで買って飲みましたが、どれも本格的な味でおいしかったです。また、会場の雰囲気良く、子どもたちののびのびと安全に遊べました」と満喫した様子でした。



新酒のにごりワインを買い求める来場者



赤沢まるごと博物館プロジェクト推進委員会(工藤睦夫会長)主催のハロウィンイベントが同時開催され、思い思いに仮装した子どもたちが会場内をパレードしました

(株)紫波フルーツパークの竹原純悦専務取締役は「想像以上のにぎわいとなり、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。飲み放題も大好評で、今年8月に販売開始したスパークリングワインは3種類のうち2種類が売り切れ、新酒のにごりワインもかなり売れました。来年からは、新たに畑を1ha増やし、性能の優れた大容量のタンクも導入する予定です。さらにおいしいワインをたくさん造り、町の皆さんに『あってよかった』と思われるような施設を目指していきます」と、さらなる発展を誓っていました。

町産ブドウで本格スパークリングワイン製造

(株)紫波フルーツパーク(藤原孝社長)は8月27日、新商品のスパークリングワインの販売を開始しました。町産のワイン用ブドウを100%使用し、シャンパンと同じ「瓶内二次発酵製法」で醸造された本格スパークリングワインは、ガス注入製法に比べて、きめの細かい泡が長く味わえることが特徴です。「自園自醸ワインの愛飲者が増え、評価も高まってきた中で、多くの生産者から期待があったスパークリングワインを発売できたことは、ワイン販売開始10周年の大きなイベントになりました」と藤原社長。今年は2150本の限定生産のため、すでに2種類が完売しましたが、来年からは徐々に増産される予定です。



発売された「シャルドネ(白)」「マスカットベリーA(ロゼ)」「メルロー(ロゼ)」の3種類のスパークリングワイン



紫波ワインまつりのステージで歌声を披露した深里さん

佐々木深里さん(紫波一中1年)が「民謡ガールズ」としてCDデビュー

紫波第一中学校1年の佐々木深里さんがメンバーとして活動している女子小中学生グループ「民謡ガールズ」が8月29日、CDデビューを果たしました。民謡ガールズは、約5年後に開かれる東京五輪のステージに立つことを目標に、今年4月に結成されたグループ。今回発売されたCDには、若い人たちにも民謡に親しんでもらえるようにと、ロック調などにアレンジされた民謡が3曲収録されています。

月に2回ほど東京に行き、合同練習やキャンペーン活動などを行っている深里さんは「同世代の子たちと一緒に、普段とは違うアレンジした民謡を歌うのはとても楽しいです。イベントではMCを担当しているので、進行やグループのPRがうまくできるように頑張っています。東京オリンピックの舞台に立って世界中に民謡のすばらしさを広めるためにも、日々の活動で一人でも多くの人に民謡を知ってもらい、応援してもらえるようにしたいです」と生き生きとした表情で話します。民謡への思いを胸に、新たな舞台に挑み続ける深里さんの活躍に、今後ますます注目です。

発売されたCDは、ナックス菅原書店などで販売されています。

ダンスをとおして国際交流



フォークダンスで交流を深めた生徒と参加者

紫波町国際交流協会は8月26日から9月3日までの期間、国際ボランティアNGOのNICEが主催する国際ワークキャンプの受け入れを行いました。中国、ロシア、チェコ出身の外国人4人と日本人ボランティア5人が来町し、5軒の農家の協力を得て2日間の民泊を行ったほか、農作業や空手、小中学生との交流を体験。8月31日には、紫波第三中学校を訪問し、3年生47人とフォークダンスをするなどして交流しました。「フォークダンスは初めてでしたが、みんなで円になって踊れてとても楽しかったです」と中国出身のユウチェンヤンさん。三中生の高橋里緒さんは「皆さんが披露してくれた各国のダンスはそれぞれに特徴があって面白かったです、勉強になりました」と貴重な経験となった様子でした。

大槌町と志和の子どもたちが交流



みんなで協力しながら収穫した稲を運ぶ子どもたち

上平沢小学校と片寄小学校、大槌町吉里吉里学園小学校の児童が交流する「ふるさと交流学習会」は9月26日に志和地区で行われました。各校の5年生40人と保護者などが参加し、稲刈りやレクリエーションなどをおして交流。志和地区の新里哲之さんの田んぼで稲刈り体験をした吉里吉里学園小学校の三浦将君は「稲刈りをしたのは初めてで、おもしろかったです。農家の方々が一生懸命に作っているから、僕たちはおいしいお米を食べられるのだと思います」と農業への理解を深めていました。昨年で交流開始から30年目の節目を迎えたこの交流会は、今年から日帰り開催となり、7月26日には志和の子どもたちが大槌町で砂の芸術祭に参加してきました。

収穫の秋を堪能！ フルーツの里まつり

第17回紫波フルーツの里まつりは9月23日、町内全10産直で開かれました。各会場では、つきたての餅や鍋物の振る舞い、農産物の試食販売など、それぞれに趣向を凝らしたイベントが行われ、大勢の来場者が買い物などを楽しみました。来場者からは「あちこちでイベントや試食販売が行われていて楽しい」「たまたま立ち寄ったが、イベントも餅まきもとても楽しかった。来年もまた来たい」と満足そうな笑顔がこぼれていました。



午後2時から行われた全会場一斉の餅まき。各会場合わせて約3万4000個の紅白の餅が空中を舞いました(写真は紫波ふる里センター)

今年で10年目 キッズフェスティバル

NPO法人野村胡堂・あらえびす記念館協力が主催するキッズフェスティバルは9月19日、同記念館で行われました。10年目の今年も、町内外から約380人の親子連れが訪れ、日中は昔遊びや餅つき、犬吠森念仏剣舞保存会や水沢農業高校民族舞踊同好会による郷土芸能の披露、夕方からは昆虫観察や星空観察を楽しみました。野村晴一館長は「記念館の芝生広場やロビーはいつも開放しているので、このイベントをきっかけに、子どもたちや地域の方々が気軽に訪れてくれる。今後もさまざまな工夫をしていきたいです」と話していました。



テンポの良いおはやしに合わせて披露された水沢農業高校生による「立石百姓踊り」

地域の吹奏楽団が集結 日詰でチャリティーコンサート

日詰地区ふれあいチャリティーコンサートは9月19日、中央公民館で行われました。東日本大震災がきっかけで始まり、今年で5回目。日詰小学校シャイニー・メイツ、紫波第一中学校吹奏楽部、紫波総合高校吹奏楽部、さくら吹奏楽団が出演し、約250人ももの来場者の前で力強い音色を響かせました。最後に行われた合同演奏の後、日詰小学校6年生の照井陽菜さんは「みんなでまとまって演奏することができて良かったです。中学生や大人の皆さんの演奏はつまくてすごいと思ったし、自分もあんなふうになりたいと思いました」と目を輝かせていました。今回集まった7万5553円は、紫波町社会福祉協議会に全額寄付される予定です。



約150人の全出演者がいわて国体メモリアル行進曲「マーチチャグチャグ」と「マジンガーZ」を合同演奏しました

動物と共生する 豊かな森を育くむ

山王海ダム周辺で9月27日、山王海土地改良区と紫波みらい研究所主催の第13回親子ふれあい研修が行われました。一昨年の大雨で被害を受けた町道が今年8月に復旧し、ダム周辺での活動が3年ぶりに実現。町内外から参加した親子42人が、平成の森でミズナラの苗木80本を植樹した後、間伐体験やダムの見学、ヤマメやイワナの稚魚放流などを行いました。赤石地区から参加した藤澤唯莉さんは「お父さんと一緒に木を切るのが楽しかったです」とこり。父の努さんも「普段何気なく見ている木の成長の仕方などを教わり勉強になりました。クマなどが人里に下りてこなくても生活できる豊かな森になつてほしいですね」と願っていました。



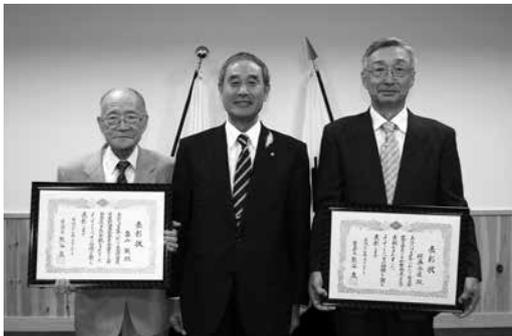
木々の成長具合や間隔を見ながら、協力して間伐する親子

秋の山屋を楽しむ ふるさと祭り

山屋ふるさと祭りは10月4日、山祇神社の例大祭と共催で、同神社境内で開かれました。地域活性化を目的に、山屋夢楽づくり実行委員会（菅原正勝委員長）が主催しているもので今年14回目。ユネスコ無形文化遺産に登録されている早池峰岳神楽の公演や取れたてキノコの販売、餅まきなどが行われ、矢巾町から友人と訪れた女性は「天気も良く、キノコやいろいろなお店も出ていていいお祭りですね。おそばもおいしいです」と楽しんでいました。また神社の側にある池では、地元の森林組合関係者で構成されている森の山寺塾・紫波による魚釣りコーナーが設けられ、親子連れに大人気でした。



産直コーナーには、地物のマツタケや香茸、シメジなどがたくさん並びました



町長から表彰状を受け取った畠山さん(左)と佐藤さん(右)

町勢発展に貢献 お二人に自治功労表彰

町は9月30日、長年にわたり町勢発展に尽力いただいた次のお二人を、自治功労者として表彰しました。

畠山誠さん（日詰）

22年3カ月にわたり、紫波町固定資産評価審査委員会委員、同委員長を歴任しました。

佐藤秀道さん（日詰）

3期12年にわたり、紫波町教育委員を務められました。

催し

地域活動講座

紫波町市民活動支援センター「ゆいっとサロン」は、地域活動について学ぶための講座を開催します。地域活動とは何か、活動資金の獲得についてなどを、実践を交えながら学びます。

■日時 10月21日(水)

午後2時30分～4時30分

■会場 情報交流館2階アトリエスタジオ

■講師 岩手県NPO活動交流センター

専門相談員 久保協一さん

■申込・問合せ 10月17日(土)までに電話

で申し込みください。当日参加も可能です。ゆいっとサロン(火)土曜日 午後1時

～6時 ☎(676)24608

いわてリハビリテーションフォーラム2015

～脳卒中からの社会復帰～

発症・再発・介護予防の視点から、現状と課題、対策、脳卒中からの社会復帰に向けて考える催しです。講演のほか、パネル展示も行われます。

■申込不要 ■参加無料

■日時 11月3日(火)祝

午後1時～4時30分

■会場 アイーナ7階 アイーナホール (盛岡市盛岡駅前北通1-7-1)

■内容

- ・トークショー「脳卒中の体験を通して考えたこと」午後1時10分～2時10分
- ・講師・伊奈かついさん
- ・講演「脳卒中、ならないのが一番」

しまつたらー」午後2時20分～3時20分
講師：岩手医科大学理事長・学長小川彰さん
講演「患者さんに教わったこと」まだ、やれる！午後3時20分～4時20分

講師：(公財)いわてリハビリテーションセンター 理事長 高橋明さん

■定員 200人

■問合せ(公財)いわてリハビリテーションセンター ☎(692)58000

子育ての悩みを解決しよう

講演会のほか、子育て相談や母子保健に関するポスター展示などが行われます。

■日時 11月3日(火)祝 午後1時～4時

■会場 イオンモール盛岡 2階ホール (盛岡市前潟4-7-1)

■内容 講演会(夫婦で仲良く子育て)産前産後の夫婦コミュニケーション 午後1時～2時

講師：(株)アイナロハ代表取締役 渡辺大地さん

■問合せ (公社)岩手県看護協会助産師職業委員会 ☎(662)8213

■申込不要

しわ介護の口

～みんなの力を介護の力に～

介護について、一緒に学んでみませんか。講演会のほか、町内介護施設の紹介や介護用品展示・介護相談なども行われます。お気軽にお出かけください。

■日時 11月7日(土) 正午～午後4時

■会場 情報交流館2階 大スタジオ(講演・寸劇)、1階 市民交流ステージ(展示)

※、2階 小スタジオ(介護相談)

■内容

・講演「私が100歳になつたら～老いを生きる準備～」午後1時～2時30分

講師：板垣園子さん(在宅医療連携拠点事業所「チームもりおか」所長)

・寸劇「認知症があつても大丈夫」午後2時40分～3時10分

出演：しわ劇団「みまご座」

・介護用品展示は1階市民交流ステージ、介護相談は2階小スタジオ

■問合せ 特別養護老人ホームにいやま荘

☎(676)5777

長寿健康課 高齢者支援室

☎(672)2111 内線1322

金婚を祝う会

長年、苦楽をともにして歩んできた夫婦をお祝いする会です。

■日時 11月15日(日) 午後4時～7時30分

■会場 ラ・フランス温泉館「ホテルゆら」

■対象 町内に在住している結婚50年以上の夫婦

上の夫婦

■会費

宿泊する場合：1組1万5000円

日帰りの場合：1組1万円

■申込・問合せ 11月6日(金)午後5時まで

社会福祉協議会 ☎(672)3258

募集

障害支援区分認定調査員

町は、障害者の日常生活・社会生活を支援するために必要な支援区分を調査する調査員を募集します。

■応募資格 看護師または精神保健福祉士の資格を有する人

■勤務条件

・勤務日 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(白数や時間については要相談)

・時給 920円/時 (通勤手当有)

■申込・問合せ 11月13日(金)までに、福祉課の窓口へ直接または郵送で履歴書を提出してください。(土日祝を除く)

福祉課 福祉推進室

☎(672)2111 内線1222

お知らせ

人権擁護委員が再任されました

10月1日付けで、次の人が法務大臣から委嘱発令されましたのでお知らせします。人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視、救済普及するなどの役割を担っており、主な活動として、小中学校での啓発活動や、福祉センターで毎月開催している「ふれあい相談所」の相談員を務めています。

〔人権擁護委員〕村谷成之さん(再任・3期目)

福祉タクシー券を利用中の皆さんへ

町は、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A・B、精神障害者保健福祉手帳1・2級の人施設入所者、自動車税・軽自動車税減免者を除くを対象に福祉タクシー券を交付しています。今年10月から、福祉タクシー券を利用できるタクシー事業者に、次の業者が追加されましたのでお知らせします。

【事業者名】介護タフシーしわじゅ

携帯電話090(5)833(6)4478

または ☎(FAX)613(3)5204

※利用には予約が必要です

■問合せ 福祉課 福祉推進室

☎(672)2111 内線1223

相談

無料調停相談会

金銭貸借、土地建物、近隣地域、遺産相続、夫婦関係の紛争などでお悩みの人を対象とした調停相談会です。相談には、民事・家事調停委員や弁護士が応じます。

■日時 10月25日(日) 午前10時～午後4時(受付は午後3時30分まで)

■会場 若手県民会館 4階会議室

(盛岡市内丸13-1)

■問合せ 盛岡地方・家庭裁判所事務局

総務課 ☎(022)33350

行政書士暮らしと事業 無料相談会

身近な行政手続きに関する疑問・質問などはありませんか。行政書士会紫波支部会員が相談に応じます。

相談無料

■日時 10月26日(月) 午後1時～4時

■会場 紫波町商工会 2階会議室

■問合せ 若手県行政書士会 紫波支部

(行政書士法人グランプラス)

☎(672)50020

ひとり親家庭などの特別相談

離婚や養育費についてなど、日常生活

お済みですか?狂犬病予防接種

狂犬病の予防接種は、毎年1度受診することが法律で義務付けられています。春に接種を行っていない飼い主の皆さんは、次の日程で必ず受けましょう。

■日時・会場 10月24日(土)

地区	会場	時間
赤石、志和、水分、古館、日詰	農協赤石支所	午前9時30分～45分
	農協片寄倉庫	午前9時55分～10時5分5分
	(元)農協上平沢出張所	午前10時15分～25分
	農協水分野菜出荷場	午前10時35分～45分
	古館公民館南側駐車場	午前10時55分～11時15分
彦部、佐比内、赤沢、長岡	日詰活動センター (元)農協日詰出張所	午前11時20分～40分
	八坂神社前	午前9時30分～40分
	赤沢活動センター (元)農協赤沢出張所	午前9時50分～10時
	佐比内活動センター (元)農協佐比内出張所	午前10時15分～25分
	彦部活動センター (元)農協彦部出張所	午前10時35分～45分
	農協東部支所	午前10時55分～11時5分

■対象 生後91日以上で、本年度に狂犬病予防接種を受けていない犬

■料金 登録済みで注射のみ受ける場合 3100円

登録と一緒に注射を受ける場合 6100円
(登録手数料込)

■問合せ 環境課 生活環境室

☎672-2111 内線2260

で困っていることを相談してみませんか。弁護士が相談に応じます。

相談無料

■日時 10月27日(火)

午前10時～午後3時

■会場

矢巾町保健福祉交流センター「さわやかハウス」相談室(矢巾町大字南矢巾14-78)

■対象 一人親家庭、寡婦の人など

■申込・問合せ

当日の午後1時まで。

(一社)若手県母子寡婦福祉連合会

☎(623)85309

サイエンスおはなし会 参加無料

科学絵本の読み聞かせと、葉っぱを使った実験や工作をします。今回は「葉っぱのスピーカー」と「プラカップけん玉」作りです。

■日時 10月31日(土) 午前10時30分～正午

■会場 図書館 ミーティングルーム

■対象 年中児～小学2年生 ■定員 10人(保護者同伴可)

■申込・問合せ 10月14日(水)から受付開始

図書館からのお知らせ

錦秋のトークイベント

「ミステリーがうまれるとき」 参加無料 申込不要

ミステリー作家、評論家の三人をお迎えしてお話を伺います。

■日時 10月31日(土) 午後5時～6時20分

■会場 情報交流館 1階 市民交流ステージ

■内容・講師 北村薫さん(小説家・ミステリー作家)、有栖川有栖さん(ミステリー作家)、戸川安宣さん(編集者・ミステリー評論家)

■問合せ 紫波町図書館 ☎671-3746

紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

ラ・フランス温泉館でハロウィン!

ハロウィンかぼちゃを使った手作りアート教室開催

ハロウィン用かぼちゃを使って、ランタンや彫刻絵を作ってみませんか。事前申込不要
完成した作品は写真に撮って館内に飾ります。

【日時】10月25日(日) 13:00～16:00

【場所】ラ・フランス温泉館1階ロビー

【参加費用】600円(かぼちゃ代金)

Trick or Treat



紫波町小屋敷字新在家90番地

☎019-673-8555

FAX 019-673-8556

ラ・フランス温泉館 検索

URL <http://www.lafrance.co.jp/>



ハダカのおつきあいー家だんらん。

La France
ラ・フランス温泉館

紫波の風土がみえるワイン
ぶどう栽培農家の思いから生まれた
100%地元産です



お土産に
紫波の
ワインを

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン

お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

2015年新酒にごりワイン

ワイナリー直売所にて好評発売中

(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原 1-11 (道の駅紫波の裏手)

☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>

紫波ワイン 検索

HOT NEWS

俳優の杉浦太陽さんと
著名料理人が町の食を探訪

俳優の杉浦太陽さんと著名料理人の笠原将弘さん（日本料理）、孤田欣也さん（中国料理）が10月2日、県の農林水産物のPRキャンペーンの一環で、町内の生産者を訪問しました。

一行は、午前中に紫波もちもち牛肥育農家の島山正宏さん（片寄）の牛舎、午後には長岡中央果樹生産組合のリンゴ畑を訪れ、生産者から飼育や栽培方法、それぞれの特徴などについて聞いた後、実際に現場でその味を確かめていました。

ロケを終えた杉浦さんは「紫波町は初めて来ましたが、空気がきれい、自然も人もおだやかですね。もちもち牛もジョナゴールドもとてもおいしく、生産者の皆さんのお話からは、自分たちが作るものに対する誇りを感じました」と笑顔で振り返っていました。

今回の取材で撮影された写真は、11月上旬から首都圏や関西圏などで駅や電車内のポスター広告や生活雑誌の広告として使われるほか、取材動画はインターネット上で公開される予定です。また雑誌には、お二人の料理人が考案したメニューも掲載される予定です。



口に入れた瞬間、とろけるような食感と甘みのある紫波もちもち牛に「うまい!」と驚く杉浦さん(左)たち



リンゴ畑でポスター用写真を撮影する(左から)孤田さん、森川勇組合長、杉浦さん

純手打ちさぬきうどん たかのはし
パートスタッフ募集

主婦の方、大活躍中です♪明るく、活気のあるお店と一緒に盛り上げていきましょう!!御連絡お待ちしております!!

- 内容:“セルフうどん”に関わる業務全て
- 時間:10:00~15:30の間 週4~5日程度(木曜定休日)
- 待遇:時給800円~、まかないうどん付
- 勤務地:紫波町上平沢字八幡24-1
- 応募:電話連絡の上、面接時履歴書(写真不要)をご持参ください。

☎080-3925-8462 担当:たかのはし(電話受付:木曜日を除く15:30~19:00)

紫波町のみなさまへ **結婚相談のプロが無料相談受けます**

(成婚料は安心の後払いです)
※いつも相談される方の“願い”を心に置いて、良いチャンスにめぐりあえるよう誠実に努力しております。

「苔玉作り体験合コン」
日時 10月31日(土) 13:30~16:30
場所 サンライフ盛岡(仙北町駅前)
30歳~45歳の真剣に結婚をお考えになっている男女各10名
お早めのお申し込みを!

「相談会」
日時 11月1・2・3日 11:00~17:00
場所 アシスト・ユー・イワテ(完全予約制) シニアの男性・女性歓迎
(秘密厳守) ご両親さまの相談受付中

★盛岡相談室では随時受付しています
アシスト・ユー・イワテ (株)全国プライダグル連盟加盟(全国ネット)
TEL FAX 019-652-0811 永年の実績と信用を誇る結婚相談所 盛岡市大通3-7-6 山根ビル5F

総合型地域スポーツクラブ **紫波ドリーム**
毎週月曜(祝日はお休み) 19時~20時30分
総合体育館
対象 小学生までとその家族

色んなスポーツに挑戦します!

ジュニアテニス
毎週金曜 小学生対象コース
毎週水曜 選手育成コース
19時~21時
サン・ビレッジ紫波

卓球クラブ
毎週木曜19時~21時
総合体育館
対象 小学生からシニア

楽しく身体を動かしませんか!!
平成27年度 会員募集中!!
参加費・月会費についてはお問い合わせください。

レディーステニス
毎週水曜10時~12時
サン・ビレッジ紫波

スポーツ吹矢教室
月曜(月2回) 19時~21時
水曜(月2回) 13時30分~15時30分
総合体育館

総合型地域スポーツクラブ **紫波ウイング**
問合せ先 事務局携帯 080-5847-5962 E-mail shiwa-wg@gymna-shiwa.jp
無料体験 見学もOK!!
お気軽にお問合せ下さい。

正規スタッフ産休のため**契約スタッフ急募**
城北歯科医院 (平成28年3月31日までの契約となります)
(古館小学校そば)
歯科衛生士・歯科助手募集(フルタイム・パート可)

■勤務時間:8:45~18:15(パートの勤務時間は要相談)
■休日:日・祝・原則として木曜日

●歯科衛生士(要:歯科衛生士免許)
●歯科助手(高卒以上・資格不要)

契約期間延長は未定です。期間終了時慰労金あり。詳細はハローワーク求人票に掲載中です。電話連絡の上、履歴書(写真貼付)をご持参ください。

紫波町高水寺字古屋敷89の4 TEL019-676-3399(担当:平井)

こずかた診療所
内科・リハビリテーション科・小児科

■診療時間平日 9:00~12:00/13:30~17:30
■受付時間平日 8:30~11:30/13:15~17:00
■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもと看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1~5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1~5の方

矢中町大字又兵衛新田5-67-1 医療福祉多機能ビルケアセンター 南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

~親のご縁は子のご縁~
「親の代理お見合い会」
開催のお知らせ

●開催日:平成27年11月15日(日)午後1:30~4:00
●場所:ホテルロイヤル盛岡(カワトク向かい)
●対象者:独身のお子様を持つ親御様
●参加費:1,000円(お茶代・資料代)

※結婚相談所ではありません
登録料・成約料は一切なし

お申し込み・お問い合わせは
一般社団法人日本結婚支援協会
この事業は(公財)いきいき岩手支援財団の
いわて子ども希望基金の助成を受けております

☎019-613-5100



協力しながら芝を張った生徒たちからは「芝生は重たかったけど楽しい」などの声が聞かれました(9月3日)

町長からのメッセージ

オガールプロジェクトが全国的に注目され、県内外から多くの視察が訪れるようになった。また、役場庁舎も移転し、紫波中央駅が町の玄関となっている。

この駅前を縦横に通る町道の植樹帯には当初キリシマツツジが植栽されていたが、土質の関係もあり、枯れた木が目立ち、あまりよい景観とはいえない状態になりつつあった。

国体も控えていたため整備を考えたが、今後の管理や財源の制約もあり、芝生を主体として協議していたところ、芝張りを紫波第一中学校の生徒さんたちが手伝ってくれることになった。

当日は1年生217人が参加してくれ、張り方を指導した小岩井農牧(株)の作業員の方々と軽妙な会話をしながら、1時間あまりで膨大な数量の芝を一気に張ってくれた。人海戦術とも言ふべきかもしれないが、ヤングパワーに感謝のひとつときであった。

この芝の一部は、(公財)岩手県土木技術振興協会からご寄付をいただいた。この道路は中への通学路でもあり、参加した皆さんには、芝の成長を楽しみながら今後とも愛着を持っていただけたらと思う。

今年国体リハール大会もあり、皆さんに植えていただいたキバナコスモスが町内にいたる所で咲いている。国体に向けて、今後ともご協力をお願い申し上げます。

熊谷 泉

中央葬祭センター シンセラホール紫波

合掌展

10月31日(土)・11月1日(日)
午前9時～午後5時まで

仏壇の展示会のほか、終活相談会を同時開催します。

中央葬祭センター 岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
「シンセラホール紫波」 ☎ 676-7676
FAX 676-4404

クボタ ショベルローダー H20年式 67hr

980,000円 中古

新車申込受付中
1,412,640円



新品 200,000円～

(株)マイタコーポレーション (古物商:第211030000835号)
紫波郡矢巾町煙山17-78-1 ☎019(697)3939-FAX019(697)7028

これからはインターネットの時代!ネット活用が自然環境を守る!



月1,000円で携帯スマホ音声
ホームページ作成いたします!

←サンプルは下記にアクセスして
スマホかパソコンでご覧ください。

インターネット放送局 紫波TV
<http://shiwa.tv>



町内企業のホームページを無料リンク致します。
【問合先】(有)佐藤時計店・眼鏡屋目明かし堂
☎676-2838 【メール】info@shiwa.tv

相心館 ゆう美容室



色と点と線が貴女を綺麗にする
貴女のテーマをもっと魅力的に...

【定休日】10月12日・18日・19日・26日
11月2日・9日・16日・22日・23日
〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
E-mail yu@posh.jp OPEN 8:45 CLOSE 18:30

空き家 対策

お気軽に
ご相談
ください

頼れる相談相手がいない
どうしたら良いのかわからない

岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員
不動産のことなら
(株)紫波中央不動産
〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)

☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

医療保険適用 在宅マッサージ

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。
あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)
利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

無料 お試し体験 実施中!!
歩行が困難な方
身体にマヒがある方。不自由がある方
車椅子使用の方など...
お気軽にお電話ください。
紫波エリア担当 ☎090-3753-0594

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.フリーダイヤル
☎0120-213-222

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

町制施行60周年記念
シリーズ行ってみよう

まちかど タイムスリップ

普段の何気ない風景の中で、町の歴史を物語っている近代史跡を訪ねるコーナーです。皆さんの身近な地域にも、今まで知らなかった町のストーリーがひっそりと眠っているかも!?

皇太子ご夫妻のために造られた展望台から望む風景。眼下には一面にリンゴ畑が広がり、奥には盛岡市の街並みと岩手山が見える（農園への立ち入りは許可が必要です）



今年もたくさんの実を付けた「お手もぎの木」



視察に訪れた皇太子ご夫妻。名誉町民で、当時の県知事・中村直さんの姿も。



美智子ロードの入り口にある記念碑と記念樹（昭和59年11月30日建立）



長岡中央果樹のリンゴ畑から望む風景

実りの時期を迎え、町内各地の田んぼや畑には、彩り豊かな秋の色が広がり始めています。赤や黄色に色づいたリンゴの実が美しい長岡中央果樹生産組合の農園内には、一本の舗装道路が通っており、頂上には白いフェンスに囲まれた展望台があります。この道路と展望台は、いずれも昭和59年に当時の皇太子ご夫妻（現在の天皇、皇后両陛下）が視察に訪れることに合わせて整備されたもの。地元では「美智子ロード」「お立ち台」の名で親しまれています。

昭和59年の10月13日、松尾村（現在の八幡平市）で開かれる全国育樹祭に出席されるために来県された皇太子ご夫妻は、花巻空港に到着後、お車でリンゴのわい化団地として全国のモデルとなっていた同組合の農園に到着。展望台から辺り一面に広がるリンゴ畑をご覧になった後、素手でジョナゴールドの実の収穫も体験

されました。「当日は激しい風雨でしたが、両陛下の到着と同時に晴れ上がりました。ご夫妻が仲良く言葉交わされていたことや、道路や園地内で数メートルおきに警備員が立っていたことも印象に残っています」と当時現地へ出迎えた組合員の稲垣敏雄さんは振り返ります。

現組合長の森川勇さんは「お立ち台からの風景は、特に花の時期と収穫の時期がきれいで、岩手山がはつきり見える時は絶景です。お手もぎの木は、接ぎ木をして子どもたちの木を育てるところで、いずれは同じ場所に苗木を植える、後世に伝え残していきたいです」と語ります。

秋の深まりとともに、リンゴの実はさらに赤みを増し、眺めも刻々と表情を変えていきます。長岡中央果樹生産組合の農園内での見学を希望する人は、電話（☎676-4429）でご連絡の上、お出かけください。

【参考資料】『広報いわて版』巻 紫波町